

2025年4月19日(土) 11:00~20:00

入場無料

第4回 元住吉ミュージックフェスティバル

in 川崎市 国際交流センターホール

最寄駅：東急東横線・東急目黒線 「元住吉駅」西口徒歩10分  
Add：川崎市中原区木月祇園町2-2  
TEL：044-435-7000

たくさんのアーティストが集いジャズ、クラシック、ロック、ポップスなどの楽曲が楽器本来の生音で一日中聴けて楽しめる手作り音楽祭です。

**元住吉最大の音楽祭**

主催 音楽好きな友の会 / MMF実行委員会  
共催 Motton Club  
後援 中原区 / 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 / (公財)川崎市国際交流協会 / (公財)川崎市生涯学習財団 / (公財)かわさき市民活動センター / かわさきFM(79.1MHz) / (公財)現代人形劇センター / 人形劇団ひとみ座  
協力 モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合 / モトスミ・オズ通り商店街振興組合 / 井田中ノ町商栄会 / 木月一丁目町会 / 木月二丁目町会 / 木月三丁目町会 / 木月四丁目町会 / 井田共栄会第2町会 / 井田共栄会第3町会 / 井田共栄会第4町会 / ウチダインテリアデザイン / 島倉 学ミュージックスクール / ソウリーヴ・ミュージック・スクール

お問合せ：mmf.info@ontomo.jp



2025 3 March

2025年3月はお休みです。

音友レコード倶楽部  
レコードコンサートのプログラムは  
「Jazz Beat」/「軽音楽の集い」/「Jazz Beat」/「ジャズの集い」  
「持ち寄りコンサート」/「レコードを聴く会」を開催中

特別付録

第4回 元住吉ミュージックフェスティバル

元住吉から楽器や歌声が聞こえる!  
出演団体プロフィール紹介

坊野 称央己 (ぼうの なおき)：ヴァイオリニスト  
東京都出身。13歳で中学校のオーケストラ部でヴァイオリンを始め、上野学園高等学校音楽科を経て同大学音楽学部を卒業。第17回万里の長城杯国際音楽コンクール弦楽器の部第3位。千葉ロッテマリーンズ出陣式にて演奏。SONY MUSICの「STAND UP!! ORCHESTRA」のメンバーとして赤レンガ倉庫で行われたフェスや音楽番組で著名なアーティストのサポートで出演。2023年には1stソロアルバム「FRAGRANCE」をリリースし、ジャンルにとらわれず幅広く活動。ヴィオラ奏者、さらには二胡奏者としての演奏活動も展開中。

連載01 ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話  
ひよんなきっかけを運命に

Buono Naoki  
ヴァイオリン奏者 坊野 称央己

「ゲーム買ってあげるからヴァイオリンをやってほしい」  
母からの一言の提案がきっかけでした。  
幼少の頃、2歳上の兄の影響でピアノを1年ほど習い、小学校でクラリネットを吹く兄を見て私は「フルートをやりたい」と吹奏楽部に入りました。フルートの楽しさに魅了された私は、中学校のオーケストラ部でもフルートを続けるつもりでしたが、1枠のみの熾烈な争いに敗北。仕方なく同じ木管楽器で温かな音色をもつオーボエを希望するも、音を出す時点で挫折。「もうこの際なんでもいいや」  
投げやりになっていた中での母からの魅力的な提案。念願の任天堂DSを手に入れた坊野少年は、ここからヴァイオリン弾きとしての人生がスタートするのです。  
一般的に、ヴァイオリンは幼少の頃から始める方が圧倒的に多く、中学1年で始めた私は「レイトスターター」にあたります。そしてオーケストラ部という

環境だけでヴァイオリンを弾いていた私は、音階や練習曲といった基礎的な訓練もなく、1、2年先に始めた先輩たちから教わりながら見よう見まねでがむしゃらに取り組みました。弦楽器が基本初心者ばかりのオーケストラ部ですが、私が中学1年の頃の定期演奏会のメイン曲は「交響曲第5番/チャイコフスキー」。オケの曲の中でもかなりの難曲とされる曲を、弾けていたり弾けていなかったりしながら全員で作りに上げていきます。そんな一生懸命に演奏する学生の中で、エキストラの先生が奏する朗々と深い音色。その音を聴いた瞬間に「自分もいつかこんな音色を奏するんだ」と深く決意したことを覚えています。ひよんなきっかけで始めることになったヴァイオリンが、運命に変わった瞬間でした。  
きっかけや理由はどんなことでも良いと思います。そして、始めてみればそれを運命に変えていける瞬間に出会えると、私は信じています。

Violinist: 坊野称央己・OfficialSite  
naokibono-violin.com

元住吉ミュージック・フェスティバル  
♪MMFが【地モトNEWS】で動画配信されています!

イツ・コミュニケーションズ(株)【地モトNEWS】「川崎市中原区」制作の番組で「元住吉ミュージック・フェスティバル」を紹介していただいています。過去の「楽器本来の生音」の様子をご覧になり、是非第4回MMFにご来場下さい。  
※動画制作配信の関係各位には大変お世話になりました。有り難うございます。

●2023年4月8日「第2回元住吉ミュージック・フェスティバル」♪ 出演者の皆さん♪  
牧野くみ、ミニッツ、らくがき、白いさお、jaja、La Vivencia、Good Neighbors Big Band、永瀬 晋、後藤いちご、山崎綾子、Prhythm、NTT横須賀通研OBバンド、Our Time J'z

●2024年4月6日、「第3回元住吉ミュージック・フェスティバル」♪ 出演者の皆さん♪  
ソウリーヴ・ミュージック・スクール、COTONEKO、pipoo、にゃんこそば、あいそるバンド、ピタースイーツノート、島倉 学ミュージックスクール、jaja、Good Neighbors Big Band、からんころん、くいしんbone、ピーターパイパー、BTGC

●2025年4月19日「第4回元住吉ミュージック・フェスティバル」♪ 出演者の皆さん♪  
ねこつきBAND、D スタンダード、あいそるバンド、小夏、ことねこ、KCRK(ククルク)、ENSEMBLE★TO、おにぎり、matzo&コマツツオ&コマツツオ、Good Neighbors Big Band、glemammy (グリマミー)、Lua(ルア)、Open Triad、昭和歌謡ガールズコレクション

「第4回 元住吉ミュージック・フェスティバル-2025」も出演者の皆様の素晴らしい演奏で盛り上げてくださいますので9時間の音楽祭を会場でゆっくり楽しんでください。  
元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会一同

川崎市国際交流センター  
2024年度 地球市民講座  
能登半島震災から 氷見市復興の歩み  
夢と希望に向かって 伝えたいことがあります

能登地震と水害に対応する支援、救援、復旧活動に際し、能登の玄関口である氷見市。復興への道のりと被災地に住む外国人支援について話します。宝塚歌劇団 月組 前トップ娘役の海乃美月氏の歌もあります。

講師：松原勝久氏 (富山県氷見市観光協会会長)  
海乃美月氏 (宝塚歌劇団 月組 前トップ娘役)

日時：3月15日(土)10:30-12:30(開場10:00)  
会場：川崎市国際交流センター ホール  
料金：入場無料  
申込：川崎市国際交流協会ホームページもしくは ☎044-435-7000 から受付中(先着200名)  
主催：かわさき国際交流民間団体協議会、(公財)川崎市国際交流協会  
後援：川崎市、(一社)川崎市観光協会

●お問い合わせ  
公益財団法人川崎市国際交流協会  
TEL 044-435-7000  
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp  
ホームページ https://www.kian.or.jp/

川崎市生涯学習プラザ  
第146回ランチタイム・ロビーコンサート

●曲目予定  
・情熱大陸(葉加瀬太郎)  
・三つのわらべうた  
・君といつまでも (弾厚作 作曲)  
・ラテンメドレー  
他

出演：@絆\_大正琴/大正琴、ピアノ  
@絆\_大正琴 笛子雅望  
笛子雅望が主宰する 東京芸術大学大学院修了。声楽家として活躍。現在、大正琴演奏家としてソロ動や新しい大正琴教 楽やアンサンブルで様々なコンサートに室を開催しています。 活躍中。琴伝流大正琴 上級師範。

●日時：2025年3月13日(木曜日) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定  
●料金：無料  
●場所：川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ  
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当  
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp  
川崎市中原区今井南町28-41  
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会 (音友会)

トリビュート クインシー・ジョーンズ

3月14日は惜しくも昨年亡くなられたクインシー・ジョーンズの誕生日。筆者も過去3回に渡って音友レコード倶楽部レコードコンサートのDJで取りあげた事がある。彼の功績は偉大で当初はライオネル・ハンプトン楽団のトランペッターを務め、その後、作曲、編曲に従事する様になりカウント・ベイシー楽団、デューク・エリントン楽団に仕事を任される様になる。また、自己のビッグ・バンドを1957年より率いてヨーロッパ・ツアーも行った。その後、1960年代に入るとTVや映画音楽にも従事し有名な所では「鬼警部アインサイド」、「夜の大捜査線」などのサウンドトラックを担当した。マイケル・ジャクソンの各種アルバム、アメリカのスーパースターが一堂に会して録音した「ウィ・アー・ザ・ワールド」をプロデュースした

事でも有名である。しかし、なんとと言っても彼のアレンジャーとしての集大成というべき曲はアルバム「Sounds...and Stuff Like That / Quincy Jones」中の「テル・ミー・ア・ベッドタイム・ストーリー」である。この曲には作曲者のハービー・ハンコックやフュージョングループ「スタッフ」のメンバーがリズムセクションとして参加し、途中から始まるヴァイオリンとエレクトリック・ピアノによるユニゾン・アドリブはクラシックとは異なるジャズ特有のアプローチで盛り上がりを見せている。

♪ 2025年3月末定のお知らせ!!  
第125回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。  
※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。

https://ontomo.jp

音友レコード倶楽部PR動画!  
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

連載07

オカリナに誘われて  
新しい世界は懐かしい世界

Kotanagi Emiko

小棚木 恵美子



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川県・東京を中心に演奏活動しています。第二・四(水)、(金)には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットにて、オカリナ体験できるレッスンや、オカリナのお悩み相談を受けるレッスンやイベントを開催中♪2025年4/9(水)、11(金)オカリナ吹奏会&花ミニアライブを開催します。オカリナ持ってご参加ください。ご予約受付中です。予約受付 090-2436-5985 花

Instagramも是非のぞいてください  
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

Instagram @emikokotanagi



前回アドリブについて書きましたが、このアドリブを勉強するようになって大きく変わったことがあります。それは演奏中の間違えが減ったこと。これは減ったというより、自分の許容範囲がすごく広がったといった方が正解です。以前は音もリズムも楽譜と違っていたら「間違えた」というカテゴリーに入ってしまいました。リズムが多少違って、その曲の雰囲気や壊すわけでもないのですが、ああ失敗しちゃったと思っていました。セッションで演奏すると、みんな思い出しながらテーマを吹くので、正解は人それぞれで、それぞれの違いが個性になってくる。最初すごく戸惑いましたが、他の方の演奏を聴いてるとちゃんとその曲だし、個人的にアレンジされてる感じがまた素敵。だから、私の中の許容範囲はどんどん広がりました。その流れで、昨年くらいから暗譜して演奏することにもチャレンジを始めました。以前は全部さっちゃん覚えなさいといけなかつたので、大変!!と思っていました。



が、忘れることがあれば、そこは私の個性がカバーしてくれる。曲の最初の音がわからないと思ったら、思いだすまでアドリブしちゃおう。今は私は私に助けられながら、演奏しています。そして、同じ曲の中に新しい音を見つけては、こんな風に吹いてもカッコいいなと、ネタを増やしています。アドリブの講座に最初に通った日の帰り道、当時教えていただいていた斎藤彰浩さんにこう聞かれました。「小棚木さんはどんな風になりたいですか?」って、私は「自由に演奏できるようにになりたいです」と答えました。ほかの参加者の方のアドリブ演奏は、とても心が揺られて聴いていて楽しくて、私もこんな風に演奏したい、なれるのかな?とも思っていました。意外となれました。そういえば今思い出しましたが、子供の頃、小学校の頃、よく自分で歌を作って歌っていました。自分の気持ちを歌に乗せて鼻歌的な歌です。あの頃の私はすでに自由に音楽を楽しんでいたのかもしれない。

特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議

スティーヴ・カーンと「空想旅行案内人」フォロン - その1

Fujita Junji

DJ担当: 藤田 順治

昨年の9月12日に東京ステーション・ギャラリーにおいて「空想旅行案内人 ジャン・ミッシェル・フォロン展」が開催されていたので見に行きました。実は(フュージョン)ジャズ・ギタリストであるスティーヴ・カーン(有名な作詞家サミー・カーンの息子)がジャケット上でフォロンの絵画を毎回、引用しておりその独特な構図、色彩を前から気になっており興味を持ったからです。今回はスティーヴ・カーンの作品と関係するフォロンの絵画について述べている感想等を取り上げてみました。フォロンは「スティーヴ・カーン」のアルバム・ジャケットに自身の水彩画を使用しています。名前の綴りを「Cahn」ではなく「KAHN」と誤って使用しているそうです。しかし、カーンは美しいジャケットで名前の綴りは間違っているけれどもこれは信じられないような名譽だと感じ、余り気にしていない様です。また、フォロンが作ってく

れたジャケット・カバーの中で一番気に入っているのは(フュージョン)ジャズ・ギタリストとして発表した2枚目のソロアルバムである「The Blue Man / Steve Khan」(写真①)らしいです。当時、流行っていたブレイカー・ブラザーズの面々(マイケル・ブレッカー、ランディ・ブレッカー、デイヴィッド・サンボーン、ウィル・リー、ドン・グロルニック等)が参加しており、重厚なサウンドが聴けます。ちょうどこの頃、スティーヴ・カーンはこのブレイカー・ブラザーズのセカンド・アルバム「Back To Back / Brecker Brothers」(写真②)にも参加しておりここでも同様



▲①The Blue Man/Steve Khan

なサウンドが聴けます。このアルバムはフォロンの絵画は使用してアルバム名通り、ブレイカー・ブラザーズの面々の後ろ姿をジャケットに使用しています。ただ、この「Back To Back」は「The Blue Man」と異なりボーカルに力を入れておりリード・ボーカルはベーシストのウィル・リーが務め、バックコーラスにはルーサー・バンドロスやパティ・オースチンなど豪華な面々が花を添えてあります。ちょうど学生時代最後の旅行で香港のレコードショップにてこのブレイカー・ブラザーズのアルバムを購入した事を今でも思い出します。



▲②Back To Back/Brecker Brothers

特別寄稿 Conversations 音楽談議

ボランティアの楽しみかたと生の音楽の聴き方

Egawa Kumi

料理研究家・ピアニスト: 江川 公美

私が音楽のボランティアをするきっかけは観客席で聴くだけでは我慢が出来なくなり、1人で多くのお客様に演奏者と共に音楽の素晴らしさ、パワー、不思議な力を伝えたいと演奏者のいる主催者側に参加したのがきっかけでした。母の面倒を見るのに2年ほど熊本に居た時、両親の大好きな日フィルの定期演奏会を聴きに行ったパンフレットにボランティア募集の掲載を見つけてすぐに連絡してスタッフに参加させてもらいました。ボランティアの楽しみの1つは九州の日フィルの定期演奏会、市民ボランティアと本部と音楽家で創りあげていくので、意見を挙げるとその案が通る場合もあるので面白い。私はチケットの種類にアンダー 25(学生優先席)が無いのが不思議に思い提案しました。「感覚・感性の素晴らしい若者達には本物の音楽を聴かせる席を作って欲しい!」と。ひと悶着はありました笑。音楽の都のウィーンでも後者の客席は学生達に安いチケットを提供しています。音楽と

は老若男女関係なく皆平等に聴ける様に、折り合いの良いところで収まり、そのかきがあり演奏会は学生がたくさん来てくれたので嬉しかったのを覚えています。また演奏会終了後のお見送りでみんなが目をキラキラさせながら帰る姿やアンコールの楽曲を知りたいと聴かれるとヨシッ!と言う感じです。生の演奏家達と演奏会後の打ち上げで身近にいるんな話が出来ると楽しいです。とにかく現場を踏める、1つのものを創りあげていくストーリーの楽しさ、これにつきますのではないのでしょうか。2025は2月に日フィルの熊本演奏会のボランティアと4月19日のMMFに向けての準備、楽しく参加させていただいています。

生の音楽の聴き方、としては全身全霊で心をフラットにして音楽を聴くにつきます。自分の波長にあう音は心の琴線に触れ、魂の浄化してくれます。また、同じ楽曲でも指揮者によって音符の読み方の解釈の違いが演奏者にも伝わり奏でる音が全然違うのでその違いを楽しむのも良いで

す。生の音楽は波動がとても良く音のシャワーを浴びている状態なので、小さなコンサートや野外コンサート、今はいるんなところでミニコンサートを開催しているので足を運んでみるのも良いですね。駅ピアノも今ではあちこちに設置してありプロの演奏家が良く弾いているのを見かけます。私は駅ピアノで良く弾れながら聴いているときがあります笑。それだけで明日の活力になります笑。音楽は人生を豊かにして、皆が幸せになる最大のツールだと思います。音楽を通して世界中の人が幸せになるように、私はこれからもお手伝いしていきたいと思っています。



第4回元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF-2025)のお知らせ!!

2025年4月19日(土)11:00~20:00開催!!  
会場:川崎市国際交流センター・ホール



毎回苦渋の出演者選考も終わり14組の演奏者の皆さんが30分ずつの交代で楽しい演奏を聴いていただこうと、準備を進めています。ぜひお誘い合わせのうえご来場をお待ちしています。

♪MMFの出演者の選考結果は2月1日(土)から各出演者のSNSなどからお知らせします。

当日運営のボランティアメイトを募集しています。  
一緒に積極的に盛り上げてくれる仲間を募集します。  
【楽器演奏が大好き!】、【楽器を生音で聴きたい!】、【イベントをやりたい!】、【司会をやりたい!】  
そんな皆さまのお手伝いをよろしく願います。 MMF実行委員会一同

詳細は音友会のHPをご覧ください。

連載24

脱線ニューヨーク滞在記  
前号からのつづき

Demura Katsuaki

出村 克明

前号では今は無きスラッグスへ行くのに逆走タクシーに乗りました。が、どうにか着きました。スラッグスについては、サン・ラ・オーケストラを見に行った話で少し触れましたが、スラッグスの在った場所はその頃治安の悪かったアルファベット・シティの近くでもありました。僕は危険とかそう云う意識も全く感じた事が無かったのですが、そのエリアにある日本人の写真家が家賃の安い事もあって部屋を借りました、其処へ強盗が入って機材をもっていかれ、暫くして又同じ強盗が来てもっていかれ、もう大丈夫と思ったら又同じ強盗が来て今度は何も無いのでお金を置いていったと云う(最後の方は創ったような感じですが)話もありました。

考証的にその車は当時NISSANではなくアメリカではダットサンと呼ばれていました。その後ビニールを張っていましたがスピードがでる度にビニールがピーピー唸ってたのを思い出します。色々思い出してきますが(本誌連載02)に書いたポンコツの元イエローキャブ(黄色のタクシー)は駐車違反の紙が何枚も貼られていましたが最終的にタイヤ4本一度に盗まれました。



▲ニューヨーク イエローキャブ

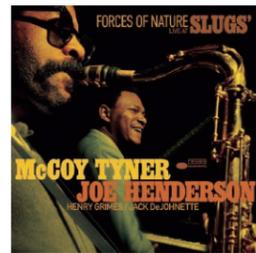
ついでにアメリカで僕の身辺に起きた事件と云うと、15年前程NYブルックリンに部屋を借りていた娘から電話がかかってきて「今、強盗に遭った……」と、アパートに帰ってきてドアの鍵を開けようとした時突然後ろから口を塞がれ、ナイフを持った男が「金を出せ」と娘はサイフを渡し「IDカードだけは返して」と云うと賊は「そりゃそうだな」と云って返してくれたという電話でした。後で聞くとそのアパートの一階には雑貨屋があって、実はそこはドラッグハブ(色々な違法ドラッグの中継場所)だったそうで、もしかしたら賊はブッシャー(売人)か何かで薬を扱うのに身近な所でお金を調達したのかなと。娘曰くその店はヤカとか洗剤等の日用品がどこどこ置いてはあるが埃が被ってて変わった店だとは思っていたそうです。その後ブルックリンが一番危険な所だと分かり、さっさと引っ越しました。僕が遭ったのはNYではなくシアトルでの事ですが、車で聞いていたラジカセがドアガラスを壊され盗まれました、時代

現場に折り合わせた追いかけシーン。ビレッジで歩道を歩いていました、すると突然20mぐらい前方の右角から血相を変えた男が逃げ走る様に飛び出してきて走り抜けて行きました、ホントに逃げたのです。間髪入れず拳銃を前に突き出したポリスが僕の方に向かって走って来ました。僕の脇を走り過ぎて行きましたが、その感じはパルチザンリアリティー的な感じのリアリティーでした。



▲I CALLED HIM MORGAN 私が殺したリー・モーガン

スラッグスは多くのミュージシャンに愛され、JAZZの聖地とも云われていた様で熱い演奏が繰り広げられたと思います。1972年リー・モーガンが銃で撃たれるまでは、ドキュメント映画「私



▲FORCES OF NATURE LIVE AT SLUGS MCCOY TYNER JOE HENDERSON

連載100

「くじら座」日記  
出逢いと別れ

Makino Kento

シンガー・ソングライター 牧野 憲人

https://lit.link/makinokento

さらなる発展を願い、未筆ながらご報告といたします。100回にわたりご覧いただきまして、まずは誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

春の香りが漂い始めると、思い出されることがある。始まりはあまり好きになれない。僕は、終わりの切なさに趣を感じる性分だ。出逢いがあれば別れもある。これは、一つの別れもある、といった意味に聞こえるが、僕には「出逢いから別れまで」という一つのストーリーを思わせてくれる。同じ人間同士が出逢うことで、自分の顔や性格などが著しく変わるわけでもないのに、親しくなり、喧嘩し、あらゆる変遷を辿っていく。見た目は何も変わらないのに、心は何回も着せ替えされていくようだ。出逢った頃から、その人は笑顔をくれた。柔らかいようでどこか冷たい頼の動き。それが、何回か話すうちに温かな微笑みになっていくのを感じた。お互いの距離は遠いのに、心はたしかに近付いていると思った。しかし、季節が変わると、だんだん悲しい顔も増

えた。あの頃と違って近くにいるのに、心の遠さが切なかった。帰り道、手を振る表情の優しさに心が崩れた。体も心も遠ざかってしまったことを知らされた。なぜ、曲を書き続けるのだろうか。楽しいことばかり考えて生きていたのに、前向きなことを書いていたのに、言葉だけがきらきらして、内心は切なさに溢れている。僕の歌詞はだいたいそうだ。皆さまに支えられながら、2017年から8年間にわたってMマガジン「くじら座日記」を記してきましたが、今回の第100号で一休載とさせていただきます。昨年12月にデビューを迎え、これからさらに活動を展開していきたいと思う中、一つでも多くを経験するため、筆を一旦置かせていただきます。しかし、その経験を蓄えたあとは、再び戻ってくる事ができるよう、今後のMマガジンの



連載82

Course: Addicted to Guitar  
Cコードを使ったジャンル別パターン  
(ギャロッピング、トラヴィスピッキング)

Nagase Susumu

ブルースロックピッキング 永瀬 晋

いつもお世話になっております。引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思っております。今回はジャンル別パターンとなりまして「ギャロッピング(トラヴィスピッキング)」のご紹介。この奏法はカントリーギターの鉄板伴奏パターンとなっていて色々な呼び方があるようですが、日本で言うと「ギャロッピング」で呼ぶのが一般的なようです。では早速譜例をチェックしていきましょう。構造は1弦、2弦、3弦が和音役、4弦、5弦、6弦がベース役となっておりまして、ベース役の4~6弦にはブリッジミュートをかけます。ブリッジミュートはブリッジ横1cm位の範囲で右手の小指の付け根を押し付けて弾く奏法で、通常の発音

と比べて音がツブツブ切れる感じになり、ウッドベースのようなニュアンスが得られます。ロック系でも有名ギターリフでかなりの頻度でも使われるテクニックですのでおなじみの方も多岐にわたるかもしれません。実際に弾くコツですが、まずはベースパートのみをしっかりと弾けるようにすることですね。そこから譜例ですと1から3弦の



ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School  
http://souleave-music.com/  
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分  
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992  
レッスンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB  
全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しが目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。登録アーティスト募集中心!演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

